



すまあい

第10号

平成19年8月24日発行

社会福祉法人

発行/志布志市社会福祉協議会

志布志市志布志町志布志3222-1(志布志市健康福祉がいプラザ内)

TEL: 472-1800 FAX: 472-1593



志布志町安楽 とどろ渓谷にて

目次

- * 地域福祉ネットワーク事業…………… P 2
- * 第7回共同募金
チャリティゴルフ大会結果報告…………… P 3
- * 赤十字奉仕団ふれあい健康安全教室開催
- * 心配ごと相談日程
- * 輪多市(私)のボランティア…………… P 4
 - ・教職員ボランティア育成講座
 - ・福祉出前講座
 - 家族で福祉体験！蓬原小学校5年生
 - 暑い日の熱い体験！志布志小学校6年生
 - ・わたしのまちのボランティア
- * 施設紹介…………… P 6
 - ～養護老人ホーム「宝寿園」～
- * 福祉事業紹介
～緊急通報システム設置事業～
- * お知らせ…………… P 7
 - ・社会福祉協議会会費の納入にご協力をお願いします
 - ・第2回志布志市社会福祉大会及び
ボランティアまつりを開催します
 - ・金婚式を開催します
- * 寄附金・義援金ありがとうございます… P 8
- * 福祉コラム

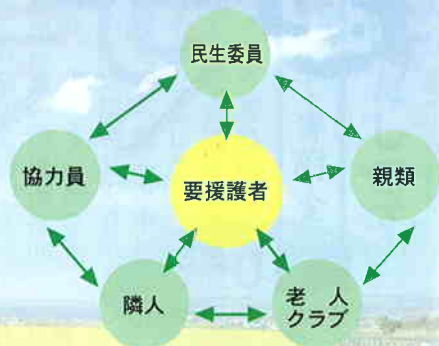


この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

住み慣れた地域で安心して暮らしていくために

地域福祉ネットワーク事業

一人暮らし高齢者世帯など、これまで援助を必要とする方々に対しては、お互いに助け合い支えあってきましたが、これからは一人ひとりの力だけではなく、地域の皆さんが協力しあい、これらの方々を見守っていくことが必要です。このような地域住民の方々による協力体制（これを「地域福祉ネットワーク」と呼んでいます）をつくっていくようにしたいものです。



■地区社協とは...

住み慣れた地域において、豊かで生きがいのある生活を送るために、地域にある福祉問題を地域住民一人ひとりが自分の問題として捉え、積極的にその福祉問題に取り組み、解決しようとする住民参加の小地域の社会福祉協議会活動です。

校区公民館に地区社協を設置して、志布志市内には二十一の地区社協があり、それぞれ活動されています。この地区社協の中で地域福祉ネットワークを作り、地区内の一人暮らし高齢者や障害者など、要援護者の方々の安否確認訪問をされています。現在、市内には松山・志布志・有明各校区で三十の地域福祉ネットワークがあります。

■関係機関への連絡先

- 志布志市包括支援センター
(志布志市役所志布志支所内)
四七二一一一一 (内線三三三)
- 志布志市社会福祉協議会
志布志本所 四七二一一八〇〇
有明支所 四七四一〇三一〇
松山支所 四八七一二〇〇一

福祉ネットワークではこのような活動を行います

ネットワークづくり

市内の各校区の民生委員や公民館長(役員)、老人クラブやボランティア、協力員など関係者が集まり、福祉ネットワークを作ります。

見守り対象者を決める

- ① ネットワークで話し合っ、見守り対象者を決めます。
- ② 協力員が、いつ、どのように訪問するかという活動計画を話し合って決めます。
- ③ 見守り活動の対象者と家族の方には事前に了解を取ります。

見守り活動を行う

- ① 活動計画に沿って高齢者や障害者などのお宅を定期的に訪問し、安否確認や声かけなどを行います。
- ② 訪問の結果、困った状態になっている場合には、本人やその家族に今後どうされるか意見を聞きます。

関係機関に連絡を取る

- ① 訪問の結果、困った状態になっている場合は、まずとりまとめ役(民生委員など)に連絡します。
- ② 協力員で対応できないことについては、地域包括支援センターや社協、警察、消防などに連絡します。

第7回共同募金チャリティゴルフ大会結果報告

7月7日土曜日、大隅カントリークラブにて、第7回共同募金チャリティゴルフ大会を開催いたしました。荒天の中、39組150名のご参加を頂き、ハーフラウンドではありましたが実施することができました。大会結果、募金結果は以下のとおりです。ご参加・ご協力ありがとうございました。

第7回共同募金チャリティゴルフ大会結果(敬称略)

大会成績

団体の部

- 優勝 : 志布志遠征会 (平均スコア 38.07)
(谷伸男・川野秀利・山中正品)
- 準優勝 : 大黒グループ (平均スコア 40.15)
(河本正男・岩切重則・前田敏春・五代敏海)
- 第3位 : ㈱岡留 (平均スコア 40.4)
(岩下純一・岡留功治・岡留松二・岡留修)



個人の部 (ラウンドされていないハーフ分はパープレイで計算されております。)

- ・ネット 優勝 川野 秀利 (ネットスコア 69.2)
準優勝 五代 敏海 (ネットスコア 69.8)
第3位 村岡 政美 (ネットスコア 70.2)
- ・グロス 優勝 本田 康信 (グロススコア 73)



募金結果

参加料分	75,000円
チャリティーホール分	39,100円
合計	114,100円

集まりました募金は全額、共同募金会志布志市支会に募金させていただきました。



災害時高齢者
支援講習の様子



非常炊出し訓練の様子

八月三日(金)、健康ふれあいプラザにて、「志布志地区赤十字奉仕団ふれあい健康安全教室」が開催されました。

非常時の炊出し訓練、災害時高齢者支援講習、赤十字についてのビデオ鑑賞、動脈硬化検診が行われ、奉仕団をはじめ参加者五十一名は真剣に講習を受けておられました。

※この教室は赤十字に対する理解、赤十字奉仕団の育成、高齢化社会に対応した地域住民の健康・安全の保持向上を図ることを目的としています。

赤十字奉仕団
ふれあい健康安全教室開催!

心配ごとがありましたら…

相談内容等の秘密は厳守します。ぜひ、お越し下さい。なお、相談料は頂きません。

9月・10月の日程

志布志本所

(志布志市健康ふれあいプラザ内)

相談日は毎週水曜日

松山支所

(志布志市老人福祉センター内)

相談日は第1、3火曜日

有明支所

(志布志市市民センター)

相談日は毎月5日・20日

【※10月は5日・22日】

相談時間 10:00~15:00

～ボランティアセンター便り～

教職員福祉ボランティア講座

七月二十七日、有明農村環境改善センターで、志布志市内の小・中学校から三十二名の先生方が「教職員福祉ボランティア講座」に参加されました。

原田小学校の都外川達彦先生の事例発表から始まり、その後鹿児島県社会福祉協議会の瀧脇所長より、ボランティアの進め方について講義していただきました。

次に、曾於地区南部消防署の指導でAED（体験用）を使い、心肺蘇生法の実演を行いました。



真剣な表情



学校の様子を話されました。

昼食は各自で作った赤十字非常食（ハイゼックス包装食）を食べられ、「学校の福祉体験で非常食をしたかったので」と、ハイゼックスの注文をされる先生もいらっしやいました。

昼食後三班に分かれて、車イス・アイマスク・高齢者疑似体験を約三十分交代ですべて体験していただきました。

最後に、溝口千恵子氏の指導で音楽（おんやく）体操を楽しみ先生方の交流も深まったようです。

「来年も是非参加したいです。」との言葉に、先生方にとって良い交流の場、体験の場となったのではないのでしょうか。



初めての非常食作り

この講座は学校ぐるみのボランティア活動の輪が広がることを目的として、児童・生徒を指導される教職員を対象に開催しております。

福祉体験学習を実施

暑い日の熱い体験！志布志小学校 6年生

6月26日(火)、6年生89人が、アイマスク・車イス・高齢者の疑似体験をしました。

短い時間の中で、車イスの操作や、アイマスクを身につけて歩いたり、疑似体験装具をつけて思うように歩けなかったりと、体の不自由な方の苦労を実感し、状況に応じた介助のやり方についてを実習しました。

暑いなかでの福祉体験でしたが「これから街で、体の不自由な方を見かけたら優しく手を差し伸べて手助けしたい」と参加した児童は話していました。



僕についてきて



だいじょうぶかな？

福祉出前講座

家族で福祉体験！蓬原小学校 5年生



車イスってこうやって使うのか～！

学級レクリエーションの一環として、「福祉体験学習」を蓬原小学校5年生より要望を受け、6月23日(土)に車イスとアイマスクの出前講座を開催しました。

当日は保護者を含め39名参加し、車イスの取扱い・介助方法・視覚障害者の体験をしました。

保護者の方も初めてのアイマスク体験で「前が全然見えなくて不安で怖かった」とのこと。

今回、親子で福祉体験をされ、家庭から地域へと福祉の輪が広がってほしいと思います。

輪多市 のボランティア

ボランティア
なかよし

「ボランティアなかよし」は、平成六年に有明町社会福祉協議会の中に結成されたボランティアグループです。

現在、会員は一〇六名です。

活動は、高齢者や障害者の方々に對する福祉活動を中心に、幼児・児童に對する活動や環境に關する活動等も少しずつ進めています。

○活動内容

① 高齢者・障害者ふれあいサロンの開催

② 高齢者・障害者への歌の宅配

③ 施設ボランティア
(小松の里・ありあけ苑)

④ 歳末の手作り年越そばの宅配

⑤ 絵手紙年賀状(会員手描き) 発送

⑥ 地区社協の地域福祉ネットワー

クへの参加(安全確認・声かけ)

⑦ 幼児・児童への本の読み聞かせ

⑧ 環境・美化活動への積極的参加

一人ひとりの力は小さいけど、

個々はしつかり持ちながら結束すれば

大きな力となり、色々な活動が継続

出来ています。会員の活動される

姿や活動からの充実感に大きな喜び

と、元氣・勇氣・やる氣をいただき、

力の湧く思いです。

これからも研修を重ねて、心からの

活動を通して『人にやさしい地域づく

り』を目指して活動していきます。

わたしのまちのボランティア



まごころ込めて絵手紙作成



おいしい手作りそば、届けてま〜す。



みんなの笑顔が活動の源!

※輪多市とは「多くのボランティアの輪を志布志市に広めましょう」の意味です。

安心を支えます

ボランティア活動保険

ボランティア活動中のケガや賠償事故を幅広く補償!

特徴

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 防災・災害のボランティア活動も補償
- ボランティア自身の食中毒や熱中症も補償
- 地震等天災によるケガも補償(天災タイプ加入の場合)



ボランティア行事用保険

ボランティア行事に参加中のケガや賠償事故を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネージャー等の活動中のケガや賠償事故を補償!

送迎サービス補償

送迎サービス中の交通事故によるケガを補償!

掛金 Aプラン…280円 Bプラン…460円 Cプラン…650円
天災危険補償タイプもあります

お申し込み、ご照会は、志布志市社会福祉協議会へ

社会福祉法人
団体契約者 全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関3-3-2新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
http://www.fukushihoken.co.jp
〈引受幹事会社〉日本興亜損害保険株式会社

施設紹介

「養護老人ホーム宝寿園」

七月九日、夏祭りを開催しました！

当園は、入所六十名、シヨート四名受入れ可能な施設です。全て個室で隣近所の方と仲間意識を大切に楽しく生活されています。

七月九日(月)には、恒例の納涼祭を開催しました。入所者は、太鼓と鈴の演奏、踊りを披露。他、銭太鼓演奏や春日流の舞踊、来園の皆様に参加して頂くゲーム、抽選会もありました。中でも、芸達者な入所者と一緒に、女子高生になつた大崎町長や腰の振りが最高の議員さん、理容組合の方による安来節、フラダンス等の仮装踊りは、大盛況でした。皆様には、打ち合わせも無く舞台上上がって頂きましたが、素人とは思えない無い程の芸を披露して下さいました。この様な姿が見られるのも他には無いと思います。



踊りの後のインタビュー！

所在地：志布志市志布志町
志布志3240-13
☎ 099-472-0407



揃いのハッピーで催し物に見入る入所者の方々

惜しまれながらファイナルを迎え、帰りには「楽しかったよ」「来年も来るからね」と声を掛けて下さる方も多く、ご協力頂いた全ての皆様に、職員一同心から感謝致しております。来年も、皆様のお越しをお待ちしております。

福祉事業紹介

「緊急通報システム設置事業」

志布志市では、高齢者や障害者の方々に対して緊急事態における不安を解消するとともに、その生活の安全を確保し、また、相談通報・生活サポート及び定期的に安否確認を行う事業を実施しています。



○今までの緊急通報システムは…
これまでの緊急通報装置は緊急ボタンを押すと、隣人やご家族の方など数名の協力者に通報が届く方式でした。

しかし装置自体の使い方が難しく利用者、協力者ともに心配される面がありました。

○新しい緊急通報システムは…
今回の緊急通報システムは、具合の悪いときなどに緊急ボタンを押すと、地域包括支援センター及び夜間については各地域の協力体制をお願いしている社会福祉法人につながるようになりました。

センターで専門の職員が対応することによって、より利用者の皆様の安心・安全が確保できるようになりました。

また、心配ごとなどの様々な相談(受付時間の制限有)にも対応できるようにになりましたので、ぜひご利用下さい。

申請など不明な点がありましたら、左記の問い合わせ先までお願い致します。

□問い合わせ先

- ・ 地域包括支援センター
TEL 四七二-二二二(内線三三三)
- ・ 志布志市役所本庁福祉課
TEL 四七四-二二二(内線一七五)
- ・ 志布志市役所志布志支所福祉課
TEL 四七二-二二二(内線二一八)
- ・ 志布志市役所松山支所福祉課
TEL 四八七-二二二(内線二七二)

社会福祉協議会会費の

納入にご協力を
お願い致します

平成十九年度も、すでに集落自治会長を通じて、各家庭に志布志市社会福祉協議会会費の納入ご協力をお願いしているところでございます。

皆様一人一人が会費を納めることにより志布志市社会福祉協議会の構成員となり地域の福祉をみんなで支えています。『誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり』を目指してまいりますので、趣旨をご理解いただきご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

社協会費(年額)

○一般会員…一世帯あたり

二〇〇〇円

○賛助会員…一口あたり

一、〇〇〇円



第2回 志布志市社会福祉大会 及び ボランティアまつり を開催します。

□と き：平成19年10月27日 土曜日
午前9時30分から

□ところ：志布志市文化会館

□内 容：式典・講演・ボランティアまつり他

社会福祉大会及びボランティアまつりの詳細につきましては、後日お知らせいたします。皆様の多くの参加をお待ちしております。



金婚式開催案内

志布志市社会福祉協議会・志布志市の主催により、結婚五十周年を迎えられた方々のご多幸をお祝いする金婚式を開催いたします。日程、及び対象者は先のとおりです。該当される方は左記へ(松山・有明については、担当民生委員へ)ご連絡下さい。

開催日

・十一月二十一日(水)

場所

・ボルベリアダグリ(志布志町)

受付

・九時三十分から

開式

・十一時

【対象者】

昭和三十三年一月一日〜十二月三十一日までの間に婚姻され、五十年目の方々と、夫婦とも健在の方が該当します。再婚された方は、再婚してからの年数になり、通年の年数ではありません。

ただし、昨年度までの該当者(昭和三十年以前婚姻)で届出されなかった方も含みます。

※該当者の連絡をいただきましたら、確認の上金婚式案内を後日致します。連絡先

志布志本所 四七二一―一八〇〇

松山支所 四八七―二〇〇一

有明支所 四七四―〇三二〇

皆様の善意に感謝いたします

香典返し寄附金

次の方々より香典返しのお礼にかえて市社会福祉協議会にご寄附を頂きました。

ここに謹んでお悔やみ申し上げ故人のご冥福をお祈り申し上げます。頂きましてご寄附は、志布志市の地域福祉向上のために有意義に活用させていただきます。

(平成十九年六月一日から平成十九年七月三十一日まで)

自治会名 寄附者名 物故者名

松山支所受付分

河床	中堂園秀臣	故チサ
射場	田中幸一	故千盤
久保園	丸野レイ子	故達雄
上園	中島ツキエ	故象男
川中	野村君子	故保
上中村	松木梅子	故末義
沖繩県	北原トキエ	故敏
河床	大迫辰也	故トキノ
宮崎県	吉元俊彦	故イカ
中原	鈴木貞子	故林サエ
	児玉ヒサエ	故兒玉春二

志布志本所受付分

安良	福森チエ	故朝春
平和	清水ミドリ	故巖
下黒丁	佐藤博	故厚子
上小西	川井田良男	故ツ子
夫愚丁	指宿良子	故隆一郎
馬見ヶ塚	松元茂	故弘洲
檜ヶ原	有野富義	故シゲ

宇都	有村初子	故林フミエ
高島	玉利努	故広作
夏井	小濱清子	故常雄
専場ヶ尾	丸田ヨシ子	故牧夫
町原	深江久行	故畑ミヤコ
南高吉	津曲和良	故ミエ
平城	長野リキ	故吉三
東横尾下	前田保男	故ミサ
緑ヶ浜岡地	中迫幸一	故ノブ
仲町	和田輝男	故ツル
鹿兒島市	宮谷博文	故ナミ
下黒丁	重信フミ子	故ハルミ
東水洗	吉田光雄	故ミサヲ
上西谷	田中友子	故盛高
平床	西正一	故正幸

有明支所受付分

小松	小松フミノ	故茂則
黒葛	福留文雄	故トミエ
通山	久保トミ	故菅徳
押切東	救仁郷知子	故タケヒコ
下宇都	吉中シヅ子	故演亮
茗ヶ谷	荒川泉夫	故光子
重田	円福文男	故清
下縄瀬	萩迫順子	故林
中須	長崎サエ子	故幸男
高下谷	大谷賢博	故博務
高下谷	八久保京子	故山本サダエ
伊崎田中野	深水晴美	故里住善
伊崎田中央	竹之内稔	故松田チサ

篤志寄附金

次の事業所・団体・個人の方々より市社会福祉協議会にご寄附を頂きました。地域福祉向上のために有意義に活用させていただきます。ありがとうございます。

志布志本所受付分

(敬称略)

- 志布志中学校昭和三十八年卒業生夢・還暦同窓会
- 四四、二四〇円
- 三鐘流、春日流、藤寿会
- 猜都スミカ 三、九七一円

災害義援金

新潟県中越沖地震義援金

義援金は『日本赤十字社』または『共同募金会』を通じて被災された方々へ届けられます。

松山支所受付分

(敬称略)

- 本村清吉 一〇、〇〇〇円
- 中原美利 一〇、〇〇〇円
- 藤森敦子 五、〇〇〇円
- 尾野見校区公民館
- 「七月二十二日、校区球技大会会場にて来場者呼びかけました」と義援金が寄せられました。

- 中村史郎 二二、七六二円
- ご協力ありがとうございます。

志布志市社会福祉協議会では、平成十九年七月十六日に発生した「新潟県中越沖地震」により被災された方々のため義援金を平成二十年一月十六日まで随時受付付けています。

福祉コラム

「福祉とは・・・」

事務局長 津町 学

社協に勤めて二十数年、アツという間に月日が流れました。当時数人だった職員も毎年のように増え、昨年合併で社協も大所帯となりました。社協で仕事をさせていただきました。多くの方々や同僚と知り合う機会に恵まれたことに感謝します。

その間に制度も環境も様変わりしてきて、そのスピードの速さには正直驚いております。特に昨今の福祉を取り巻く変動は激しく、行政責任によりサービスを提供する措置の時代から契約の時代に、与えられる福祉から利用者がサービスを選択する福祉に変わってきました。

ここで一考。普段、私達が何気なく使っている福祉とは・・・法律で決められた福祉、ボランティアによる福祉、有償による福祉等いろいろな福祉があります。福祉をひもといってみますと「福」も「祉」も幸せを意味する文字であり、直訳すると幸せに生きることではないでしょうか。

健康な楽しい暮らし・・・誰でも望んでいるものです。今のあなたがそれを手にしているとしても病気や障害はいつ訪れるか分かりません。その時の医療費等の負担、介護の人手はどうなるでしょう。



病むことも老いることも自然のことであり、そんな時に安心して暮らせるものでなければ本当に豊かな暮らしとはいえないと思います。私達の周りには既にこうした問題に直面している人達がたくさんいます。それは一部の人達の問題でなく、誰もがいつかは出会う問題であります。社会福祉とはそのような問題を社会全体で解決していくこととするものであります。それには、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるような福祉の仕組みを目指す地域福祉の推進が大事であります。行政の社会福祉制度を基盤として、地域の保健・医療・福祉分野が連携しての福祉サービス推進が必要であり、その中で私達社協の果たす役割は重要であります。

私達社協は、志布志市民が生まれ育ったこの地でいつまでも元気で生活できるように志布志市の福祉向上の一翼を担うとして職責を全うして参りたいと思っております。

「社協は何でもあり。子どもも・高齢者も・障害者も・介護も。福祉ニーズに応えるところが社協だから。だからやりがいがある。」